

## 擁壁

ASUZAC

## Contents

ポラメッシュ (垂直擁壁)	P.038	バイコン 基礎ブロック3・4・5 (省力化積みブロック関連パーツ)	P.073
しずか (ポーラスコンクリート大型ブロック)	P.046	バイコン 小口止めブロック (省力化積みブロック関連パーツ)	P.076
うらかたくん (大型ブロック積擁壁 専用裏型枠付)	P.050	テラセル擁壁工法	P.079
CKフォーム (かご式残存型枠擁壁)	P.056	箱型擁壁工法 (フリーウォール)	P.083
ヘキサゴン (レベル積み曲線安全施工ブロック)	P.062	テールアルメ工法	P.087
積みブロック	P.065	テンサー工法 (盛土・地盤補強用ジオグリッド)	P.091
クイックブロック (省力化積みブロック)	P.067	EPS工法 (発泡スチロール土木工法)	P.095
クイックブロック調整パネル (省力化積みブロック関連パーツ)	P.071		

# テールアルメ工法

盛土内に帯状の鋼製補強材（ストリップ）を層状に敷設し、土とストリップの摩擦効果によって、強固な補強盛土を構築できます。



## 特長

1. 粘り強い構造により災害（地震・水害）に強い補強土壁です。
2. 様々な用途（造成・海岸・橋台・架台など）に対応できる多様性を持っています。
3. シンプルな部材で構築されるため施工が容易です。
4. 補修性が高く維持管理が容易です。

L型擁壁

擁壁

のり面

張出製品

河川製品

ため池

ポック  
カルバート

バイシ付管

マンホール

側溝

道路製品

水路製品

貯留システム

石材

付録

■ テールアルメ工法 14cm板厚十字形

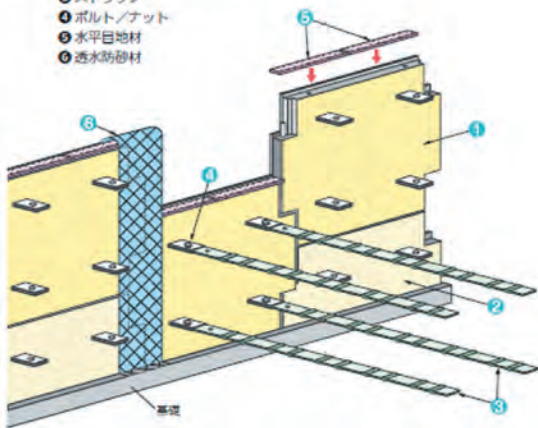
抜群の実績を誇り、高い施工性を発揮する十字形壁面材、適切な補強材配置により高い強靭性を発揮するスタンダード。

コンクリートスキンに取り付けられた補強材=帯状の鋼材(リブストリップ)によって土を補強して構築される構造です。

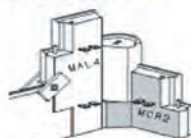
部材数が少なくシンプルな構造であるため、施工が簡易に出来ます。補強材が自由に配置出来るため、曲面や斜めのボックス等の取り合いへの対応が可能です。

【標準部材】(コンクリートスキンタイプ)

- ① コンクリートスキン (フルサイズ)
- ② コンクリートスキン (ハーフサイズ)
- ③ ストリップ
- ④ ボルト/ナット
- ⑤ 水平目地材
- ⑥ 透水防砂材



〈マルチコーナースキン〉



公称寸法：850×1500(750)×140



内曲り



外曲り

【テールアルメFS】

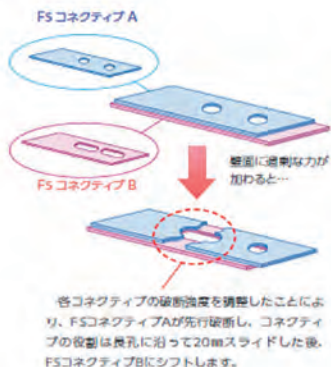
テールアルメFSのセールスポイントは、

- ① 国土交通省が推進する「インフラ長寿命化基本計画」(H25)に沿った技術です。
- ② 補強土取扱会社の類似技術の中では、最もシンプルで電源も不要です。
- ③ 機能を追加しても、施工法や耐久性が損なわれることがない。

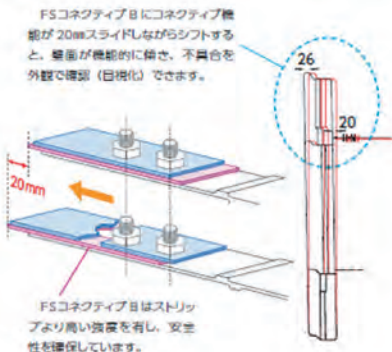


新開発〈FSコネクティブ〉

安全性を維持する Fail Safe 機能

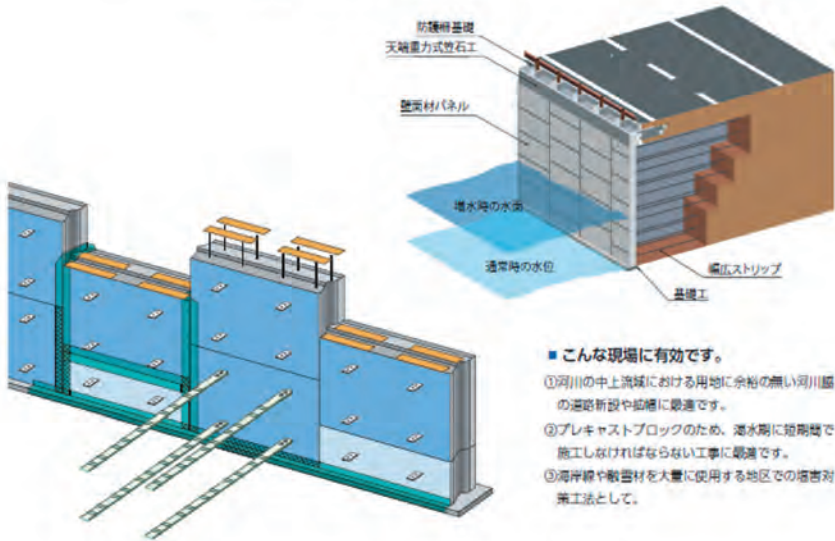


内部異常を可視化する Fail Sensor 機能



## 【アクアテール35】

アクアテール35は河川構造物として“国土交通省河川砂防技術基準”に準拠した壁厚35cmかつシンプルな継手形状とし、「壁面形状・部材・施工の簡素化」を念頭においた製品です。これまでの水中テールアルメ「カラーウォール工法」に比べ「省力化・省資材化」を実現。壁面工のプレキャスト化により「足場工」が不要となり、「工期短縮・トータルコスト削減」を実現しました。



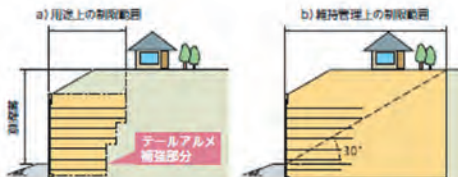
### ■ こんな現場に有効です。

- ①河川の中上流域における用地に余裕の無い河川圏の道路新設や拡張に最適です。
- ②プレキャストブロックのため、増水期に短期間で施工しなければならない工事に最適です。
- ③河岸線や敷設材を大量に使用する地区での塩害対策工法として。

## 【宅造用テールアルメ】

数多くの大地震によりテールアルメ工法の高い耐震性が実証されています。そしてテールアルメ工法は補強土壁として唯一、「テールアルメ擁壁」として大臣認定を取得し、宅地造成という重要度の高い箇所での使用が認められています。

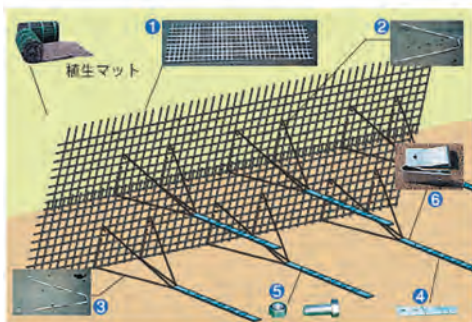
テールアルメ擁壁は、地上見附高さで15mまでが設定されていますが、擁壁の背面土地利用や維持管理者に関する制限事項がありますので、留意が必要です。





## 【テラヴェール〔緑化テールアルメ工法〕】

壁面材にメッシュパネルを用いたテールアルメ工法で、植生マットと組み合わせて壁面を緑化することが出来ます。部材はすべて軽量のため、人力での組み立てが可能。加えて壁面材が安価であり、撤去も容易なことにより仮設としても使用可能です。緑化の不要な現場では、栗石と壁面材を組み合わせることで、景観調和と維持管理の省力化がはかれます。



### ■ 構造図

- ①メッシュパネル ②アッパーフック
- ③ローワーフック ④ストリップ
- ⑤ボルト・ナット ⑥ヘアピン



## 施工事例

